

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
利益配当金の株主確定日	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日 上記の他必要がある場合は予め公告して臨時に基準日を設けることがあります。
定時株主総会	毎年6月
公告掲載新聞	東京都内で発行する日本経済新聞
IR情報掲載URL	http://www.ensuiko.co.jp/iridxj.htm
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所等	

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
電話でのお問い合わせ先		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
お取扱店		みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。


※未払配当金の支払のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いたします。

第78期 報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成23年3月31日




「オリゴのおかげ」を使った
「フルーツの手作りカッテージチーズかけ」
※詳しいレシピは、ホームページ「オリゴのおかげ
レシピ集」でご覧いただけます。
http://www.oligo.jp/club/recipe_spring.html

 塩水港精糖株式会社

ホームページアドレス

<http://www.ensuiko.co.jp/>

 塩水港精糖株式会社

証券コードNo.2112

Contents

株主の皆様へ	2
連結財務諸表の概要	7
財務諸表の概要	9
会社概要	11
PR	13

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

また、この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社は食品メーカーとして、砂糖事業並びに糖質ファインケミカル事業において、常に最新技術による製品の開発・製造に取り組み、企業価値の創造と増大に努めて参ります。

また、高品質で安全な製品を安定的に提供することを通じて、健康で安全な食生活に貢献し、株主の皆様を始めとする各ステークホルダーのご期待に応える企業を目指して参ります。

さて、当社第78期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）決算を終了いたしましたので、営業の概況につきご報告申し上げます。



取締役社長 浅倉 三男

① 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出の増加や生産の下げ止まりを足がかりに景気は一時緩やかな回復傾向にありましたが、欧米の景気減速や夏以降の急激な円高の進行により輸出は伸び悩み、デフレと厳しい雇用情勢が続く中、個人消費は低調に推移しました。また3月11日に発生した東日本大震災による日本経済への影響と被災への復旧・復興が懸念され、景気の先行きに不安を抱えた状況で当連結会計年度を終了しました。

当連結会計年度の海外原糖市況は、期初19.97セント（ポンド当たりニューヨーク粗糖現物相場。以下同じ。）で始まりましたが、主要生産国ブラジル、インドの生産回復により、来期の世界砂糖需給が供給過剰に転じるとの見通しから5月には当期間最安値の18.07セントまで下落しました。しかしその後、天候異変等により主要生産国であるブラジル、インド、オーストラリア等において、当初見通しに比し大幅な減産となり、世界砂糖需給予測が当初の供給過剰から供給不足に転ずるとの見方から11月上旬には39.65セントまで急速に値を上げました。その後は、国際砂糖価格の上昇から、主要生産国において作付面積が拡大し、砂糖生産数量が回

株主の皆様へ

復したことから市況は落ち着きを見せ、結局31.58セントで当連結会計年度を終了しました。

国内精糖市況につきましては、東京市場現物相場（上白糖大袋1kg当たり。）は期初182～183円で始まりましたが、海外原糖相場の下落を受け、7月初旬には6円下げ176～177円となりました。その後は海外原糖相場の高騰により先高感が強まり、10月中旬に182～183円に上昇した後、12月下旬には189～190円とし、そのまま当連結会計年度を終了しました。

かかる状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高めるとともに、価格競争力の一層の向上に努めて参りました。

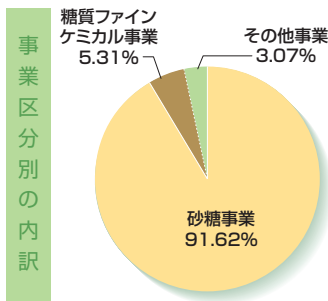
その結果、当社グループの当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

当連結会計年度	金額（百万円）	前年同期比
売上高	28,431	6.2%増
営業利益	1,142	8.0%増
経常利益	1,146	20.5%減
四半期純利益	1,004	4.7%減

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

セグメント	売上高（百万円）	セグメント利益（百万円）
砂糖事業	26,048	2,063
バイオ事業	1,509	△22
不動産賃貸事業	873	121
調整	-	△1,020
連結損益計算書計上額	28,431	1,142

（注）セグメント利益の調整額△1,020百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用825百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。



事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

① 砂糖事業

砂糖取引では、海外原糖市況は期後半から極東地域向け粗糖現物価格が高い水準で推移する中、適切な原糖買付けと為替予約を行い、一方、国内においては、適正価格での販売に努めました。また、夏の期間、酷暑の影響等により前年と比べ一部糖種の出荷量が増加しましたが、年間を通じた場合、個人消費の低迷から砂糖需要が減少し、販売数量は前年同期をやや下回りました。製造面では製造コストの一層の低減に努め、一定の成果をあげました。

② バイオ事業

オリゴ糖

家庭用の「オリゴのおかげ」ブランド製品の拡販に向け、効果的な販売促進施策を実施しましたほか、関東・関西においてテレビCMを放送しました。業務用は、ユーザーの新商品への新規採用に向けた営業活動に努めました。

サイクロデキストリン（CDと略称。）

飲料、健康食品向けのほか、食品以外分野への取り組みに努めました結果、化粧品及び麺類の用途に新規採用がありました。また、メタボリックシンドローム対応商材として、血糖値上昇抑制作用と脂肪蓄積抑制作用を有する、「サラシア属植物エキス末」の拡販に努めました。

以上から、オリゴ糖は家庭用が堅調に推移しましたが、オリゴ糖、CDともに業務用ユーザー向けが減少したことにより、バイオ製品（オリゴ糖、CD）の販売数量・販売金額は、いずれも前年同期に比べやや下回りました。

③ 不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備賃貸、ニューESRビル事務所の一部賃貸等、引き続き所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、新規微生物を利用したバイオ技術により、肝機能改善、解毒作用促進、疲労回復促進等の機能を有するグルクロン酸の工業的生産技術の開発に成功し、当連結会計年度は、その生産技術

に関するノウハウの第三者への貸与等に努めました。また、抗がん剤である糖修飾パクリタキセルを、がん細胞と親和力がある抗体を結合させたりポソームに包み込み、これを効率よくがん細胞へ到達させることにより抗がん剤による副作用を大幅に軽減し得る新たな「がんミサイル療法」に関しては、実用化を目指して研究開発を進めました。

また、農林水産省からの研究委託事業として、米粉を原料とした乳化機能がある食品素材の開発の早期実現に努めました。

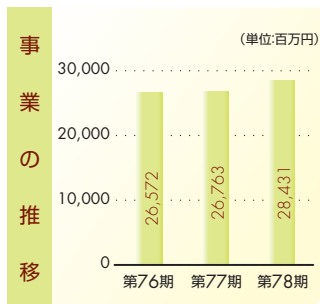
バイオ製品（オリゴ糖、CD）につきましては、引き続き製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の探索に努めました。

② 対処すべき課題

平成23会計年度のわが国経済は、東日本大震災の影響により短期的には経済の下押しがおこり、その後、被災への復旧・復興需要が見込まれるものの、需給ギャップを解消させるほどの経済回復は期待出来ず、雇用情勢は一段と厳しく、個人消費の伸び悩みが予測されます。また原糖及び為替相場の変動、中東、北アフリカ情勢の緊迫化に起因する原油価格動向等の不安定要素が懸念されることから、当社及び当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

海外原糖市況は、粗糖の主要な輸出入国の動向、ファンド資金の動き、原油価格の変動、為替相場動向等により、今後も予断を許さない相場展開が続くものと思われまます。

国内精糖市況は、個人消費が伸び悩む中、高甘味度甘味料など砂糖と競合する商品との競争を余儀なくされ、砂糖販売競争は厳しい状況が続くものと思われまます。かかる状況下で、当社は総発売元である株式会社パールエースと一体となって顧客満足度を第一義とする営業に努め、取引先との信頼強化を図って参ります。また、東



西の精糖共同生産を着実に推進し、コスト競争力を高め、高品質で安全な製品を安定的に供給するとともに、生産、販売両部門の連携を一層深め、環境変化に対応し得る効率的な事業体制の構築を推し進めることにより、経営基盤のさらなる強化に努めて参ります。

バイオ事業におきましては、オリゴ糖部門では家庭用の「オリゴのおかげ」ブランド価値強化とシリーズ製品の拡販に向けた潜在需要の掘り起こしのために、さまざまな媒体・機会を利用した価値啓蒙の取り組みを継続し、各種販促施策を推進して参ります。業務用については新規ユーザー開拓と継続したユーザーフォローに努め拡販を目指して参ります。サイクロデキストリン（CD）部門におきましては、飲料、健康食品分野は勿論、食品以外の分野でも新規用途の開発と拡販に努めて参ります。また、糖質研究所との連携をとりながらCDを用いた血糖値上昇抑制作用や脂肪蓄積抑制作用を有する「サラシア属植物エキス末」を用いた新商品開発に取り組んで参ります。

研究開発につきましては、バイオ製品（オリゴ糖、CDなど）のさらなる製造コストの低減と新たな機能と用途の開発に取り組んで参ります。またグルクロン酸の製法に関するノウハウの第三者への貸与等の実現や「がんミサイル療法」の早期実用化に努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

T O P I C S

テレビCMを放送（平成22年12月、平成23年1月、3月）

出演：三屋裕子さん



連結財務諸表の概要

● 連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	6,946	流動負債	10,708
現金及び預金	1,152	支払手形及び買掛金	1,387
受取手形及び売掛金	1,826	短期借入金	8,025
たな卸資産	2,512	未払法人税等	29
繰延税金資産	99	未払消費税等	13
その他	1,355	賞与引当金	65
		その他	1,187
固定資産	20,802	固定負債	11,694
有形固定資産	12,278	長期借入金	9,934
建物及び構築物	4,854	退職給付引当金	1,272
機械装置及び運搬具	2,167	役員退職慰労引当金	222
工具器具及び備品	56	その他	264
土地	5,190	負債合計	22,403
建設仮勘定	9	【純資産の部】	
無形固定資産	122	株主資本	6,322
投資その他の資産	8,401	資本金	1,750
投資有価証券	5,633	資本剰余金	266
長期貸付金	1,187	利益剰余金	7,422
繰延税金資産	1,484	自己株式	△ 3,116
その他	96	その他の包括利益累計額	△ 977
		その他有価証券評価差額金	△ 912
		繰延ヘッジ損益	△ 65
資産合計	27,748	純資産合計	5,345
		負債・純資産合計	27,748

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	28,431
売上原価	23,489
売上総利益	4,941
販売費及び一般管理費	3,799
営業利益	1,142
営業外収益	325
受取利息及び配当金	222
持分法による投資利益	44
デリバティブ利益	1
その他	57
営業外費用	320
支払利息	206
支払手数料	107
その他	7
経常利益	1,146
特別利益	2
その他	2
特別損失	93
たな卸資産廃棄損	10
投資有価証券売却損	61
投資有価証券評価損	8
環境対策費	7
その他	5
税金等調整前当期純利益	1,055
法人税、住民税及び事業税	40
法人税等調整額	9
当期純利益	1,004

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

財務諸表の概要

● 貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	6,858	流動負債	10,004
現金及び預金	1,084	買掛金	930
受取手形及び売掛金	2,129	短期借入金	8,025
たな卸資産	2,478	未払金	798
繰延税金資産	48	賞与引当金	41
短期貸付金	762	その他	209
その他	357	固定負債	11,464
固定資産	19,979	長期借入金	9,934
有形固定資産	11,174	退職給付引当金	1,272
建物	4,046	役員退職慰労引当金	168
構築物	524	その他	89
機械及び装置	2,149	負債合計	21,469
土地	4,383	【純資産の部】	
その他	70	株主資本	6,225
無形固定資産	119	資本金	1,750
投資その他の資産	8,685	資本剰余金	345
投資有価証券	3,016	利益剰余金	7,186
関係会社株式	2,559	利益準備金	282
長期貸付金	1,842	その他利益剰余金	6,903
繰延税金資産	1,174	別途積立金	2,930
その他	91	繰越利益剰余金	3,973
資産合計	26,837	自己株式	△ 3,056
		評価・換算差額等	△ 856
		その他有価証券評価差額金	△ 844
		繰越ヘッジ損益	△ 11
		純資産合計	5,368
		負債・純資産合計	26,837

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	20,970
売上原価	16,668
売上総利益	4,302
販売費及び一般管理費	3,325
営業利益	977
営業外収益	267
営業外費用	316
経常利益	928
特別利益	849
特別損失	73
税引前当期純利益	1,704
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	39
当期純利益	1,655

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■会社概要 (平成23年3月31日現在)

商号	塩水港精糖株式会社 ENSUIKO SUGAR REFINING CO.,LTD.
本社	東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号 03-3249-2381(代)
創立	明治36年12月
設立	昭和25年 7月
資本金	17億5,000万円
従業員数	97名
事業所	糖質研究所 関西営業所 工場／横浜共同生産工場（太平洋製糖株） 大阪共同生産工場（関西製糖株）
関係会社	(株)パールエース、(株)おかげさま、 太平洋製糖(株)、関西製糖(株)、南西糖業(株)、 (株)ナルミヤ ※株式会社イーエスは、平成23年1月4日をもって当社に吸収合併いたしました。
株式市場	東京証券取引所市場2部
主要商品	精製糖（グラニュー糖、上白糖、三温糖、液糖他） 乳果オリゴ糖（オリゴのおかげ、オリゴのおかげEX） サイクロデキストリン（デキシーパール、イソエリート、デキシーエース他）

■取締役及び監査役

取締役会長	久野 修慈	取締役	山下 裕司
*取締役社長	浅倉 三男	取締役	神崎 俊
専務取締役	藤縄 賢一	取締役	佐藤 裕
専務取締役	白石 健二	常勤監査役	毛利 保弘
常務取締役	安戸久仁彦	常勤監査役	林 文孝
常務取締役	黒田 一晴	監査役	神宮 壽雄

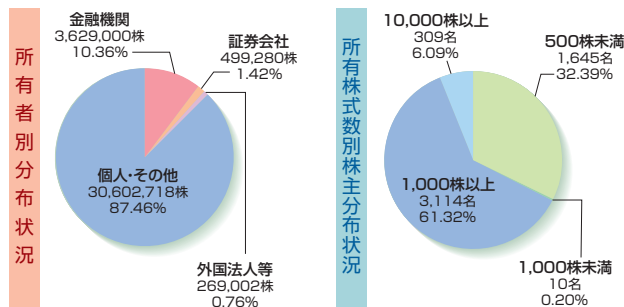
*は代表取締役です。

■株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株 (自己株式7,890,111株を含む。)
当期末株主数	5,078名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
三菱商事株式会社	8,400 ^{千株}	30.99 [%]
株式会社みずほコーポレート銀行	1,495	5.51
三菱UFJ信託銀行株式会社	603	2.22
株式会社榎本武平商店	550	2.03
大東通商株式会社	500	1.84
南西糖業株式会社	500	1.84
株式会社みずほ銀行	451	1.66
村上 真之助	390	1.44
株式会社損害保険ジャパン	340	1.25
東京海上日動火災保険株式会社	340	1.25

(注) 持株比率は自己株式(7,890,111株)を控除して計算しております。



「オリゴのおかけ」®

毎日、ティースプーン2杯がポイント!!

単なる低カロリーの甘味料ではありません!

健康管理に欠かせない

ビフィズス菌を増やす

プレバイオティクス※食品です。

毎日続けることで腸内環境を整えます。
1日にティースプーン2~5杯を目安に、
おなかの調子に合わせてご使用下さい。

おいしい甘さ!!

自然でクセのない、
おいしい甘さが特長です。

家庭用「オリゴ糖」
シェアNo.1!

実際に使って効果を実感していただいた、
多くの方に長年支持されています。

カロリーは
お砂糖の約半分!!

カロリー約半分!
液体なので塗ったり、かけたりして
お使いください。

ビフィズス菌を増やす!

自分自身のビフィズス菌を増やし、
おなかの調子を整えます。

自然素材!

サトウキビからできたお砂糖と、
牛乳に含まれる乳糖から作られた
食品です。

トクホ!



消費者庁許可
特定保健用食品



※プレバイオティクスとは…

人の腸内に常在する有用菌を増殖させたり、
有害な細菌の増殖を抑制することで、有益な
効果をもたらす難消化性食品成分です。

(300gボトルは、お1人で約1ヶ月分)

<http://www.oligo.jp>

●販売者 株式会社 パールエース

●発売元 塩水港精糖株式会社